

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 27 年 1 月 7 日
学校名	香川大学教育学部附属特別支援学校
PTA 会長名	請川 洋子

実施概要	実施活動名	PTA 主催の販売活動を中心とした本校への理解を広げるための地域との交流活動 (附属坂出学園合同運動会, 府中湖水のフェスティバル)
	実施日時	①附属坂出学園合同運動会 9 月 20 日 (土) 9:00~12:30 ②府中湖水のフェスティバル 10 月 5 日 (日) 8:30~15:00
	実施場所	①附属坂出中学校 ②坂出市府中湖カヌー競技場周辺
	実施目的	①附属学校園保護者との関わりを大切にし, 販売や演技の応援を通して交流を深める。 ②学校所在地の方々が地域をあげて取り組んでいる行事と一緒に参加し, 多くの方々と関わり, 本校を理解していただく機会とする。
	実施内容	・ 学校紹介展示 ・ 販売活動 (アイス, フランクフルトの販売) ・ 生徒の作品販売 (窯業作品, 家政作品, 農園産物等)
	実施方法	・ PTA の本部役員を中心に, 各グループごとに活動を分担して企画・運営する。 ・ 香川大学生に準備・販売等の手伝いを願う。 ・ 今年度は, 特別支援学校 40 周年記念学校祭の宣伝を兼ねて, 学校のキャラクターの入った T シャツを作成したり, 作成した記念品を来場者に配ったりする。
	参加人数	① 小・中学部保護者, 学生ボランティア等 43 名 ② PTA 行事部担当者と参加できる生徒, 職員, 学生ボランティア等 23 名

報告事項	内容	① 附属坂出学園合同運動会 松韻会 (附属坂出幼小中 PTA) の販売活動の手伝い ② 府中湖水のフェスティバル 水のフェスティバル実行委員会参加 (8 月 6 日 19:00~20:30 府中公民館) 学校紹介展示 販売活動 (アイス, フランクフルトおよび生徒作業作品)
	結果	① 附属坂出学園合同運動会 販売活動や子どもたちの演技の応援を通して, 自然な形でいろいろと話す機会がもてた。保護者の交流の良い機会となった。また, 本校の生徒の作品を, 松韻会として買い求めてくださり, 機会をとらえて附属幼・小・中学校で, 特別支援学校のことを紹介したり, 保護者の交流のきっかけを作ったりしてくださった。→11 月の本校の草刈り作業に松韻会より 25 名と多数の応援があった。 ② 府中湖水のフェスティバル 実行委員会では, 本校の紹介も改めて行い理解を深めることができた。販売品目について, お互いに調整しながら会全体として盛況になるように相談し合えた。生徒の作品も毎年楽しみにしてくれていた。 T シャツは, 創立 40 周年の際に決まった特別支援学校のマスコットキャラクターを使ってデザインを工夫し, アイロンプリントで手作りした。また, 記念品として, キャラクターを紹介するオリジナルシールを 400 枚作成し, 購入してくれた方々に配布した。



		メニューボードを購入し、店頭置く予定であったが、フェスティバル当日は台風の接近に伴い実施も危ぶまれる天候であったので、今年は会場には持参しなかった。学校紹介も、運んだり、展示したりに無理のないサイズでしっかり固定できるものとした。 雨が降ったり止んだり、風も強かったが、フェスティバル全体は順調に進行され、本校の販売テントにもたくさんのお客様が来てくれて、食べ物販売は例年より早く完売することができた。小学部の児童の交流相手校の児童がこのイベントに参加しており、保護者や学生と話しながら買い物してくれた。  
	所感	毎年行っている活動を、少し見直し工夫することで活動の輪が広がることを改めて感じた。運営に関わった保護者同士も一緒に活動する中で、子どものこと学校のことなどいろいろと情報交換できた。校内でもさらにPTAの活動への積極的な参加を促せるような取り組みを見直していきたい。 来店記念品として作成したシールを渡すことで、「これ何？」といつもの販売活動に加えて、やり取りのきっかけが生まれ、学校のことを紹介するチャンスとなり、たくさんの人と話す場がもてたことは良かったと思う。本校のことを少しでもたくさんの地域の方に知ってもらうことができ、理解推進につながった。
添付書類	なし	

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 27 年 1 月 7 日		
学校名	香川大学教育学部附属特別支援学校		
学年		氏名	

＜水のフェスティバルに参加していた交流相手校児童からの声＞

- ・アイスクレープを買いに来てくれた子どもたちが、特別支援学校のことを知っているよと声をかけてくれた。また、作品販売コーナーを保護者と一緒に見ながら「いろんなことをしてるなあ」と感心してくれた。
- ・附属小学校の児童は、販売を手伝ってくれていた香川大学の学生さんや本校の保護者に「特別支援学校の友達と一緒に交流会したことがある」、「今日は、カヌーに参加せんの？」と気軽に声をかけてくれた。
- ・購入時に渡した記念シールを見て、特別支援学校にキャラクターができたことを知り、興味をもっていろいろと質問をしてくれた。
また、「シールは机に貼っておくよ」、「また、学校へ見に行く」と声をかけてくれた。
- ・府中小学校の児童は、7 月は台風で交流できなかったのに、ふれあい祭りの交流を楽しみにしていると感想を言ってくれた。
- ・11 月の「40 周年記念ふれあい祭り」に参加してくれた児童が、水のフェスティバルのときにシールをもらって家に貼っていることを伝えてくれた。

カンガルーシップ活動

理解プロジェクト参加感想

提出日	平成 27 年 1 月 7 日
学校名	香川大学教育学部附属特別支援学校
氏名	

<坂出学園秋季合同運動会について>

- 午前中の参加ですが、日頃からお世話になっている松韻会（坂出附属幼小中PTA）の方々の販売活動のお手伝いをしたり、保護者と交流したりできてよかった。
- 本校の高等部の作品販売コーナーでは、毎年リピーターの購入者がいて、うれしく思っている。また、香川大学の学生さんたちのお手伝いにも感謝している。運動会に参加している皆さんが、様々な形で子どもたちを応援してくれ、理解の輪が広がっていると思う。

<水のフェスティバルについて>

- 坂出市（学校所在地）外に住んでいるため、中学部に入学後、初めてこの行事を知りました。地元も含め、県内各地でコミュニティ祭が催されていますが、この水のフェスティバルの最大の特徴は、「府中湖」を主体とする郷土の歴史や文化を学び、「水」の大切さを知ることでしょうか。また、全国各地からの参加者が集う府中湖でのドラゴンカヌー大会の開催は、地域内外の活性化にもつながっていると思います。このようなイベントの中の「おいしいもの広場」のコーナーで、本校PTA親和会が出店できることは、学校のPRにもなるし、販売活動を通して、地域の方と連携した一体感を味わうことができ、喜ばしく思っています。今年も、フランクフルト、アイスクレープともに完売し、盛況のうちに終了することができました。準備、運営には気を使いますが、メンバー（行事部）の保護者の皆さんとともに、充実した時間を過ごせてうれしく思いました。
- 毎年参加することで、学校のPRになっていると思う。食べ物の販売の傍らで、生徒の作業作品販売コーナーも設けている。学校紹介や、作品づくりの過程の説明シートを置いて見てもらうことで、障害のある子どもや特別支援教育の理解推進につながっていると思う。販売活動に、生徒（高等部）も一緒に参加できたらいいと思った。自分たちの作ったものを、実際に地域の人やイベント参加の様々な人が買ってくださっているということを体験させてあげられたらいいと思った。
- バザーの準備や当日の運営については大変なこともありますが、会場の他のブースの方々が教えてくださったり、ごみの当番や順番方法を丁寧に説明してくださったりしたおかげで、慣れない場所ではありましたが、スムーズな運営ができたと思います。府中湖という豊かな自然の中で、スポーツを通してたくさんの方が集まり、楽しみながら競い合ったり、交流を深めたりしながら、改めて自然に感謝できる素敵なフェスティバルであると思いました。
- たくさんの方に生徒の作品を見てもらえる機会であり、私たち子どもたちがこんなに素晴らしい作品を製作できることも分かっていただけ大切な場だと思います。また、イベントに参加していた交流校の附属坂出小学校や、府中小学校の児童に声をかけてもらいうれしく思いました。